

# 心のとびら

弥富市立桜小学校  
道徳通信  
No.29  
平成28年2月10日

## 輪中の郷を訪問してふれあい会を行いました

4年生は、総合的な学習の時間で福祉について学習しました。バリアフリーについて調べ、実際に弥富駅のバリアフリーを教えてもらったり、車いすや手話、点字の講座を受けたりしてきました。そして、学習のまとめとして、高齢者とのふれあいを通して共に助け合って生きることの大切さを学ぶために、2月2日（火）に、輪中の郷に訪問し「ふれあいの会」を行いました。

輪中の郷では、高齢者の方と握手をして自己紹介をしたり、じゃんけんゲームをしてふれあいました。高齢者の方に目線を合わせることに、ゆっくり大きな声で話すことに気を付けてふれあうことができました。その後、児童が鬼のお面をつけて鬼になり、高齢者の方に豆を投げてもらいました。また、職員の方が赤鬼になって登場し、児童も鬼に向かって「鬼は外、福は内」と楽しく豆を投げるようになりました。最後にソーラン節を踊って、歌のプレゼントをしました。見てくださった高齢者の方から拍手や「上手！！」と誉めてもらいました。今回の「ふれあいの会」を通して、思いやりの気持ちをもって優しく接することの大切さを学ぶことができました。



【自己紹介を行う様子】



【豆まきを行う様子】

## 輪中の郷の方へのお礼の手紙より

輪中の郷に行って食事をしやすいように口の運動をしたり、できる事はその人の能力を高めるために手伝わなかったり、いろんな工夫をしていることがわかりました。「ふれあい会」を通して高齢者の方にやさしく接することの大切さを学びました。これから困っている方がいたら助けようと思いました。ソーラン節や歌などで高齢者の方に喜びをプレゼントできてとてもうれしいです。

輪中の郷は、段差がなかったり、スロープがあったりバリアフリーがたくさんある施設であることがわかりました。高齢者とのふれあうときは、耳元でゆっくり話すことに気を付けました。高齢者の方の笑顔を見て、僕も笑顔になりました。介護士という職業に興味をもちました。介護士には、技術だけでなく「やさしさ」「思いやり」が大切だと思いました。その温かい心が素敵だなと思いました。